

SUNPAK オールウェザー&マリンストロボ G-FLASH

使用説明書 Instruction Manual

ALL WEATHER & MARINE
G-FLASH



このたびは、サンパック「G-FLASH」をお買い上げ頂き、ありがとうございました。ご使用にあたっては、この使用説明書をよくお読みになり、内容をよく理解して正しくご使用ください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

ご使用になる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止する為、お守り頂くことの説明をしています。よくお読みになり取扱いにご注意ください。

- 警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、**死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずお守りください。**
- 注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、**が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。必ずお守りください。**

警告

機器を開けたり、改造しないでください。高圧回線があり、火災、感電又は傷害の原因になります。当社指定以外の付属品を使用しないでください。火災、感電又は傷害の原因になります。機器を落としたり破損した場合、又は機器の中に物体が落ち込んだ場合には、絶対に露出部分に触れないでください。機器を人の目の前(特に乳幼児)に近づけて撮影しないでください。目の近くで発光させると、視力傷害を起こす危険性があります。特に乳幼児を撮影する時は1m以上離れてください。電池を入れる時は、+ - を正しく入れてください。また電池を交換する時は、全部を一度に同一メーカー、同一種類の新しい電池、または、完全に充電された電池を入れてください。誤った使い方は漏液、発熱、破裂の恐れがあり、電池寿命が短くなったり、接触不良の原因になったりします。コップ、化粧品、薬品の入った容器のそばで機器を使用しないでください。こぼれたり、機器の中に入った場合、火災、感電又は傷害の原因になります。可燃性ガス及び爆発性ガス等が大気中に存在する恐れがある場所で使用しないでください。

注意

バッテリーを高熱にさらさないでください。乾電池は充電しないでください。直射日光の当たる場所や埃の多い場所に保管しないでください。不安定な場所で機器を使用しないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。

その他の注意

ベンジンやシンナー、アルコール等で機器を拭かないでください。機器の変色や変形の原因となります。汚れのひどい時は柔らかい布で乾拭きしてください。

本製品のセット内容

- G-FLASH 本体
- カメラブラケット
- ワイドパネル
- シリコングリース
- Oリング
- 取扱説明書

各部の名称



1 撮影の準備

● 電池の入れ方

- 電池カバーのロックツメを内側に押し込み、ロックツメの穴がロック確認窓から見える状態で、電池カバーを引き出してください。

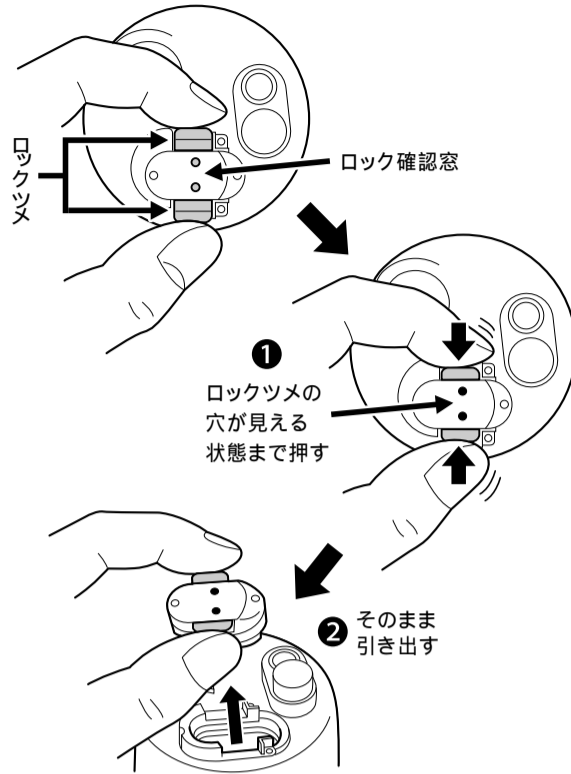


図 1

- 単 3 形電池 2 本¹ をストロボ内部の電池シールに合わせて +、- を正しく入れてください。

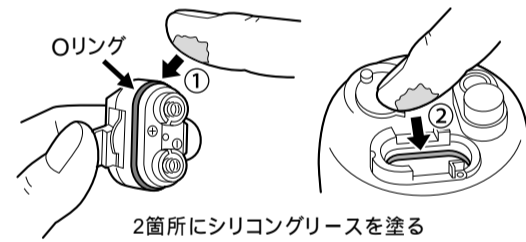
使用できる電池の種類

- 1次電池タイプ：単 3 形アルカリ乾電池 (2 本)
- 2次電池タイプ：単 3 形ニッケル水素電池 (2 本)・単 3 形ニッケド電池 (2 本)

- 重要** 必ず、2本とも同一メーカー同一種類の新しい電池か、又は完全に充電された電池を入れてください。

- 重要** 電池カバーの Oリング (ゴム) と、電池収納部内の Oリングが接する部分の 2箇所に付属のシリコングリースを薄く塗布してください。

前回に塗ったシリコングリースや付着したゴミがある場合は、きれいに拭き取ってから、あたらしいシリコングリースを塗ってください。塗り過ぎるとゴミ等が付着し浸水の原因となりますので、ご注意ください。Oリングにキズが付いている場合は、新しいOリングにお取り替えください。



2箇所にシリコングリースを塗る
グリースは、電池入れ替えた時、カバーをはずした時は、必ず塗って下さい。

図 2

- 電池カバーのロック指標と本体のロック指標を合わせながら、カチッと音がするまで電池カバーを押し込みます。

重要 その際、**ロックツメの穴がロック確認窓から見えない状態**になって完全にロックしていることを確認してください。

ロック確認窓からロックツメの穴が見える状態(ロックしていない)で使用しますと、浸水、故障の原因になります。

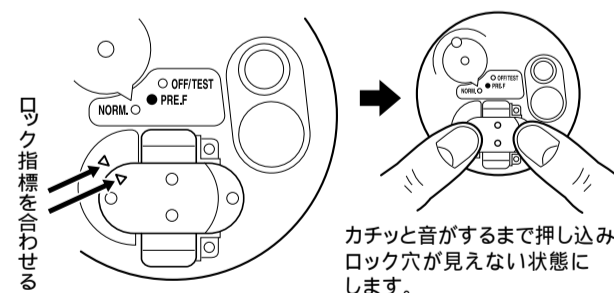


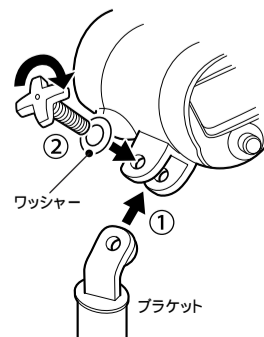
図 3

● 取り付け方

- G-FLASH 本体のブラケット取付部のストロボ固定ネジを取り外し、取付部にブラケットを指し込み、ストロボ固定ネジでしっかりと固定します。ワッシャーがついていますので、落とさないようにして取付けてください。

- カメラは、カメラ固定ネジでしっかりと固定してください。落下等の原因になりますので、ネジはしっかりと固定してください。

取付角度(照射角度)は自由に変えられます。

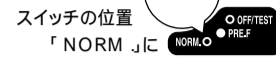


2 撮影

● 設定

- カメラのモードをプログラムモードにする。
- カメラの内蔵ストロボを強制発光にする。
- 赤目軽減機能の解除 (カメラの内蔵ストロボが赤目軽減機能を持っている場合は、OFFにしてください。)
- 内蔵ストロボの発光方式によって、スイッチ ON/OFF の位置が変わります。

A. 通常発光タイプ



B. プリ発光タイプ



どちらか分からない場合は、最初に < PRE F > の位置に合わせて発光してください。カメラがプリ発光タイプの場合には同時に発光しますが、通常発光タイプの場合には同時発光しません。

5. テスト発光

カメラのシャッターボタンを押して内蔵ストロボが発光することと本機がそれに反応して同時発光していることを確認してください。そして、撮影画像で本機が同調していることを確認してください。(本機のスイッチを OFF にすることもテスト発光できます。)

以上で設定は完了です。

F値が設定できるカメラをお持ちの場合は、F2.8 に合わせてご使用ください。広角レンズ(20mm以上)をご使用の場合は、付属のワイドパネルを発光部の前に取付けて、ご使用ください。取り付ける時には、ワイドパネルの穴の位置を、本体スレープセンサーの位置に合わせてください。

● デジタルカメラでの撮影の仕方

- シャッターボタンを押して撮れた画像をディスプレイで確認します。
- 被写体が明る過ぎたり、暗過ぎたりする場合は光量調節ツマミで光量を調節してください。
- 明るさがちょうどよい場合は撮影完了です。
- 続けて撮影する場合は、レディランプの点灯を確認してから、シャッターを押してください。レディランプが点灯していないと発光しません。

● フィルムカメラでの撮影の仕方

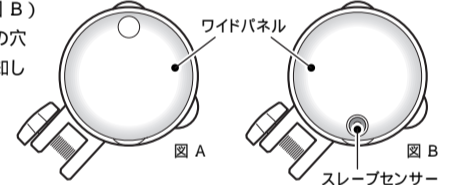
「表 1」を参考にして、被写体までの距離にあわせて光量調節ツマミを回して光量を決めてから、撮影してください。

表 1

カメラの内蔵ストロボのガイドナンバーが 8、絞り値 F 2.8 の場合での設定値です。		被写体までの距離	G-FLASH の光量
8	F 2.8	8m	22
		6m	15
		3m	3

● 水中での撮影時のご注意

水中でご使用の場合は、付属のワイドパネルを発光部の前に取付けてご使用ください。取り付ける時には、ワイドパネルの穴の位置を、真上にしてください。(図 A) これは、水面からの太陽光の乱反射を感じて発光してしまうことを防ぐための対策ですが、もしこれによりスレープセンサーの反応が悪くなる場合には、ワイドパネルの穴の位置を下にして(図 B) 本体スレープセンサーの穴の位置に合わせて感知しやすくなります。



3 撮影上の注意

- 被写体からの反射光をスレープセンサーが感知して同調しますが、反射光が少ない場合には同調できません。
- 内蔵ストロボ光だけで光量が十分な距離では、本機を併用すると露出がオーバーになることがあります。内蔵ストロボ光だけでは光量が足りない場合にご使用ください。
- 本機を使用中に、他の人が使用しているストロボが発光すると、本機が同調する場合がございます。

重要 スレープの感度を高く設定してありますので、ストロボ光以外の光の変化に反応して発光する場合がありますが、異常ではありません。

4 撮影後の処置

撮影後は必ず、よく水洗いをして乾燥し、塩分などを残さないようにしてください。長い間ご使用にならない時は、電池を抜いておいてください。シリコングリースとそれに付着したゴミはよく拭き取ってから保管してください。長い間ご使用にならない時は、Oリングは取り外して、シリコングリースを塗り、ビニール袋に入れて保管してください。

主な仕様

使用電池	単 3 乾電池 2 本 (アルカリ、Ni-Cd、Ni-MH (別売))
ガイドナンバー	3 ~ 22 (ISO100 相当)
発光間隔	約 9 秒 (アルカリ電池) / 約 5 秒 (ニッケル水素電池)
発光回数	約 150 回 (アルカリ電池) / 約 30 回 (ニッケル水素電池)
調光方式	マニュアル (ボリューム式光量調節機能)
機能	プリ発光キャンセル付きスレープ機能内蔵
照射角度	28mm レンズをカバー (35mm フィルム換算)
色温度	約 5,500K
防水性能	JIS C0920 保護等級 8 級
耐水圧	45m
付属品	カメラブラケット、ワイドパネル、シリコングリース、Oリング
寸法 (H x W x D)	本体 70 x 70 x 105mm、ブラケット 120 x 193 x 35mm
質量 (重さ)	285g (電池別)、ブラケット 183g

仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

最新情報は、サンパックホームページでご確認ください。

SUNPAK トーカードエナジー株式会社

本社 〒145-0062 東京都大田区北千束 1-4-6 TEL03-5701-1122
大阪営業所 〒542-0081 大阪市中央区南船場 2-10-27 TEL06-6245-5333
サンパックホームページ <http://www.sunpak.jp>